

令和 7 年度第 6 回交通会議議事要旨 (令和 8 年 3 月 19 日)

令和 8 年 4 月 28 日

南城市地域公共交通会議

1. 議事次第

令和7年度（第6回）南城市地域公共交通会議

日時：令和8年3月19日（木）15時～

場所：南城市役所1階 大会議室

次 第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議 事

1. 南城市地域公共交通計画(案)について・・・資料①、②、③

2. 南城市地域公共交通再編実施計画の変更(案)について・・・資料④

4. 報 告

1. 令和7年度第5回議事報告について・・・資料⑤

2. 沖縄バスのダイヤ変更について・・・資料⑥

5. その他

（配布資料一覧）

資料① 南城市地域公共交通計画（案）

資料② 南城市地域公共交通計画（資料編）（案）

資料③ 南城市地域公共交通計画（素案）に対するパブリックコメントの結果

資料④ 南城市地域公共交通再編実施計画の変更（案）

資料⑤ 令和7年度第5回会議議事要旨

資料⑥ 沖縄バスのダイヤ変更

2.議事概要

2-1.南城市地域公共交通計画(案)について

番号	委員	事務局
1-1	資料③のパブリックコメントだが、一人の方が7件の回答ということでしょうか。回答が一人というのは寂しいが、お子さんの視点で深堀している意見と感じた。 今後、パブリックコメントを実施する際の手法についてうかがいたい。 (津波古委員)	パブリックコメントの意見が1名ということで少ないと受け止めている。周知期間が短かったと反省している。複数の媒体でパブリックコメントを実施しているが、さらに周知の手法を検討していきたい。
1-2	高校生の公共交通の通学率47%は、路線バスとNバスの足し算かと思う。複数回答の結果をみると送迎の割合が高いが、評価指標のページで47%の数字のみをみると、公共交通での通学が多いとミスリードする可能性がある。通学時にバスが選択肢となる高校生が47%いるという理解になるが、注釈をつけるなどミスリードしないように見直した方がよい。 冒頭の「はじめに」に、交通事業者の役割が記載されているが、一番最初に安全運転を入れるべきではないか。 (神谷委員)	高校生の公共交通の通学率の表示は、見直しを検討する。 「はじめに」の交通事業者の役割はご指摘を踏まえ追加する。
1-3	資料編では、中核地のバスターミナル整備が施策としてあげられているが、今回の計画では、バスターミナル機能の整備検討となっている。網計画から現計画で施策の内容が変わったとの認識でよいか。 (慶田委員)	網計画策定時は、庁舎近くにバスターミナル機能を備えた複合施設の整備を想定して記載していた。現在も網計画策定時同様に複合施設の機能としてバスターミナルの整備を検討しているが、具体のスケジュールはたてられていない状況である。市としては、いずれ整備を行いたい、現時点では時期が示せない状況であり、バスターミナル機能の整備検討という表現にしている。

番号	委員	事務局
1-4	各施策の取組内容が記載されているが、令和8年度に取組予定が記載されている施策は、令和8年度の予算の確保もされているとの認識でよい。 取組内容として継続実施や、適宜実施が記載されており、Nバスの継続運行など具体的内容がわかるものは良いが、運賃支払い方法の充実などは、これまでに段階的に何を実施してきた、今後どのようなことをしようとしているのかを記載しないとわからないと思う。具体的に記載できるこれまでの取組あれば記載してほしい。 評価指標として中心拠点の運行本数を記載しているが、路線バスが減便せざるを得なくなった状況で、この目標値により縛られないかが懸念される。本数であらわすのもよいが、主に運行を担ってほしい時間帯など、評価指標については柔軟に検討してほしい。 KPIはこれから計画を評価するうえで重要な事項であり、目標だからといって骨抜きにされても問題である。地域の交通の状況を知らない方がみたときに、目標値をたてに減便時にバス会社が責められることは本意ではなく、どのような観点で運行本数を評価指標とするのかを検討していくのが良いのではないかと。本数が減ることで、利用者数が減ることも考えられ、便あたりに置き換えれば減らない可能性もあるので、バス会社の意見を聞きながら検討してみてもどうか。 (亀谷委員)	実施施策は令和8年度予算がついているものもあるが、調査等については予算がついていないものもある。今回計画に記載することで、庁内での財政確保もしやすくなるとも考えている。今後財政当局と調整していきたい。 運賃支払いのキャッシュレス化については、これまでにオキカを導入し、直近ではクレカを導入している。今後は、時期は明確ではないがマイナンバーカードを活用した市民割引等を検討している。これまでの取組について追記する。 運行本数の指標については、KPIで縛られないようにする必要もあるため、通勤通学時間帯の本数等で設定するなど交通事業者の意見をうかがいながら検討したい。

2-2. 南城市地域公共交通再編実施計画の変更(案)について

番号	委員	事務局
2-1	サンエー八重瀬シティへの乗り入れとのことであるが、八重瀬町にもタクシー会社があり、意見調整、意見交換を行っているのか確認させてほしい。また、調整を行っているのであれば、八重瀬町のタクシー会社に周知をお願いしたい。 (津波古委員)	11月の第4回の会議では八重瀬町の職員に同席してもらい承認をいただいている。サンエー八重瀬シティの1階での待機であれば問題だが、2階での待機であればタクシーと競合しないため問題ないとの回答もタクシー会社から得ている。

3.報告事項

3-1.令和7年度第5回議事報告について

質疑なし

3-2.沖縄バスのダイヤ変更について

質疑なし